

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム げんき
日付	平成19年2月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>比較的介護度が高い入居者が多く見られ苦勞する中で、職員の数や規程より多く配置することで、すべての入居者が公平な介護を受けられるように工夫しています。また入居者に対して職員は笑顔で接し、家族のように暮らしていました。料理を作ることもなかなか難しいようですが、手打ちうどん、柏餅、巻き寿司など、季節ごとに職員が作るのを見ながら入居者は昔の姿に浸っているようです。</p> <p>個人の記録はホーム独自のものを使っています。見やすく、問題点がすぐ分かるように工夫されています。家族がいつでも見られように配慮され、面会時には家族とのコミュニケーションに役立っています。</p> <p>職員が楽しそうに仕事をしているのが印象的で、職員間の人間関係もよく、意思疎通がよく取れていると思います。またレベルアップのため、外部の研修へ積極的に参加しています。必ず2名参加させ、ホーム内の研修で発表し、介護に採り入れています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>特になし。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 「やすらぎと安心、げんきな笑顔」を理念としています。入居者の性格をしっかり理解して対応し、職員は家族のように接しています。入居者の家族ともコミュニケーションを十分に取り、今の状態を包み隠すことなく伝えていきます。入居者の介護度に差が出てきたため、職員の人数を増やし比較的介護度の軽い人にも同じように触れ合う時間を作ろうとしています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 夕方になると帰宅願望が出てくる方がいます。その都度、洗濯物を畳んでもらいながら意識を変えさせていきます。入居者に接する時間を増やすことで対応しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 入居者の居室に入るときには必ず声を掛けています。またトイレ誘導時など、他の入居者の前で私的なことは言わないように心がけています。編み物やパズルなど今出来ることをしてもらっています。職員の言葉かけが穏やかでした。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	外部の研修には積極的に参加しています。職員会議や施設内研修時に研修の内容を話しています。入居者の介護度にばらつきがあり、どうしても重度な入居者の介護に時間を取られます。比較的元気な入居者の対応をするため日中の職員を増やしました。入居者と一緒に散歩に行ったりして、ふれあいの時間を作っています。		